

New! 東大野球部

メールマガジン

Vol.26

いあいせい

連日のごとく雨の日が続き、梅雨明けが待たれる今日このごろですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。雨でグラウンドの状態が悪く、思うように練習ができない日もあります。このような時期だからこそ基礎体力づくりに励み、これからの忙しい夏に向け備えたいと思います。今後とも、東大野球部の応援をよろしく願います。



僕の野球人生①

今回から、4年生部員に「僕の野球人生」と題して、今までの自らの野球人生を振り返って思う事、また野球への想い等を語ってもらいます。第一回目は、田中選手と伊藤学生コーチを特集いたします。

田中 淳（四年・捕手）

今まで野球を続けてきたが、大学野球が一番楽しい。まず神宮球場という学生野球のメッカで試合ができていくことがある。高校まで、そういう大舞台で試合をすることを夢見て練習していた。その夢が叶い、うれしい。また活気ある応援の中で野球ができるのは快感である。

次に高校までと考え方が変わり、野球がおもしろくなったことがある。考えもしなかったことにたくさん気づけ、それをうまく機能させたときの達成感は、それまでにはとても感じることはできなかった。

最後に勝つということのうれしさを強く感じられるようになったことがある。勝ったときのスタンドを見ただけで心からうれしくなれる。

来シーズンで僕の野球は一区切りとなる。今まで野球を続けていく際にお世話になった人たちに、最高の形で締めくくることが恩返しできるようなりたい。



伊藤 怜史（四年・学生コーチ）

メルマガをご覧の皆様、こんにちは！学生コーチの伊藤怜史です。

お題は「僕の野球人生」とのことですが、中高はもちろん、大学は振り返れば正直挫折することばかりでした。

入学前まで入部する気もなく、大した実力もないのに東大野球部の門を叩いてしまった以来、巧くならないことやマネージャーでの失敗をするなど凹むことの連続でした。

じゃあなんで続けたと聞かれれば、やっぱり神宮での試合を見てしまったからとしか答えられません。

ほんの興味で行った開幕戦で、東大は早稲田に敗戦。だけども予想外でした。試合開始から終了までずっと多くの方々が応援して下さいている。こんな舞台二度とない。この応援になんとか応えてみたい。そう思って入部しました。結果的に選手でいたのは1年半くらいでしたが、経てきた道には納得しています。

当時と比べ少しでも東大野球部を強くできたのか、というのとは分かりません。結果で示すしかないと思います。将来の優勝に向けて道を作れるよう、あと数ヶ月精一杯がんばって参ります。恐縮ですが、ご声援の程宜しくお願い致します。



東大野球部員の一日（第1回）

今回から、「東大野球部員の一日」と題しまして、何人かの選手にそれぞれの一日の過ごし方を紹介してもらいます。初回は、三年の南慶彦選手（投手・暁）を特集いたします。南くんに、先週のある一日について簡単に紹介してもらいました！

3年投手・南くんの一日



練習

朝6時に起きて、納豆と卵かけご飯を食べて球場に向かいます。今日は午後から授業なので、午前中極力時間を無駄にしないように練習しました。

授業

練習後、一日家に帰り、着替えてから自転車で授業に向かいました。僕は農学部なので実習があります。今回は高尾山について川辺に生息する昆虫を採集してきました。カワゲラ、カゲロウなどあまり見たことのない様々な水性昆虫を見るのが出来ました。また、2区内とは違う澄んだ空気も味わえて良かったです。



お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5800

メールアドレス office@tokyo-hc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等が
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか？四年生はあと一シーズンで引退ということで、一人一人の思いをファンの皆様にお届けできれば幸いです。また「野球部員の一日」では、選手の日常を皆様に知っていただく良い機会になればと思います。今回特集しました南くんは、農学部 of 面白い実習を紹介してくれました。今後も、東大野球部員の大学生らしい一面をどんどんお見せしていきたいと思ひます。それでは、今後とも東大野球部への、温かいご声援をどうぞよろしくお願ひ致します。

